

EMでらくらく不耕起栽培

福井県福井市 三上貞子

13年前より約10aの畑を不耕起栽培に取り組み、約30品種の野菜栽培を行っている



EMとの出会い

平成9年、10年に清水町生活改善グループ総会に南氏と佐野氏の講演を聴いて関心を持ち、南氏の自宅で栽培したキュウリのジュースと市販のキュウリのジュースを試飲し、全く味が違うのにびっくりして以来EMを活用した有機栽培に切り替えた。旧清水町に「EM有機の会」を組織し現在会員が90名余りいる「EM有機の会」の会長として一昨年まで会員を毎年EM活用した先進地の視察に案内してきた。又、平成9年から地域に仲間8名と「清水野菜グループ」を作りスーパー「Vマート」に週5日出荷している。



高齢者にも楽々栽培法

栽培に使用する資材



EMを活用し米のとき汁発酵液とEMで処理されている牛糞堆肥とEMボカシのみである。当然化学肥料や農薬は一切使用していない。また栽培に使用する農具は鍬と鎌と6㍑の散布器のみである。このように不耕起栽培を行う仲間が増えってきた。除草の手間もかからず、畑を耕す重労働をすることもなく、播種して管理して収穫といいとも簡単で年齢を重ねる者にもってこいの栽培方法である。

【三上式じゃがいものゴロゴロ植え】

畝幅 180 cm、畝高 20 cm の所に一列 5 力所に 5 cm ほど堀り、芽 2 つにしたじゃがいもを置き、土をかぶせ、間にお椀約一杯のぼかしを置き EM 敷布し、180 cm の黒マルチで覆っておく。（切った面を上にして置く。）芽が出るとツンと上がるるので 1 cm ほど指穴を開け移植ごてで穴の所に土をかぶせる。収穫はマルチを取るとじゃがいもがゴロゴロ並んでいて寄せ集めるだけです。



マルチをめくった状態
マルチは二度使用する



深く掘ることなく、手でか
き集めるだけの樂々収穫



必要な分だけ収穫してマルチを
かけておくことも出来る

【不耕起大根栽培】

大根は 1 ヶ月前に元肥を施用。3 列で大根の種を 2 粒づつ蒔く一畝 14 m で EM ぼかし・貝化石・EM 牛糞堆肥を表層施用。細根大根になったら間引きして土寄せを行う。列幅が 60 cm あるので風邪通しも良くなり虫も来にくく。大根の太さがそろっていて美しい。大根・かぶら・・・越冬用は播く時期をずらす。

三上式野菜保存法 保存は畑で！

カーテンや端布を大根の上にかけておくと霜除けになる。（12月にはいったらかけておく）・・・葉っぱもきれいなままで。かぶら、白菜・ネギ・ほうれん草も同じように畑で保存します。

大根の葉っぱの保存

きれいな葉っぱを柔らかい所 10 cm 程カットして熱湯にサッとくぐらせてナイロン袋に入れて冷凍保存。



私の喜びいつも野菜は V マートに出荷していますが、お客様が名前と野菜の味を覚えて下さり、ほとんど売り切れです。又、最近では大根は直接畑にお客さんが来られ、泥付きのまま買われていきますので労力を考えますと本当に助かります。野菜の他に、イチジク、ブルーン、柿等の果樹が疲れた時の自分のおやつとして植えてあります。病院で血液検査をして頂いたところ、お医者さんも驚くほど血液がキレイですとお墨付きを頂きました、畑で EM の波動を頂いてこんなに健康で畑仕事が元気にできることに毎日感謝しています。

全国 EM 技術交流会より抜粋引用